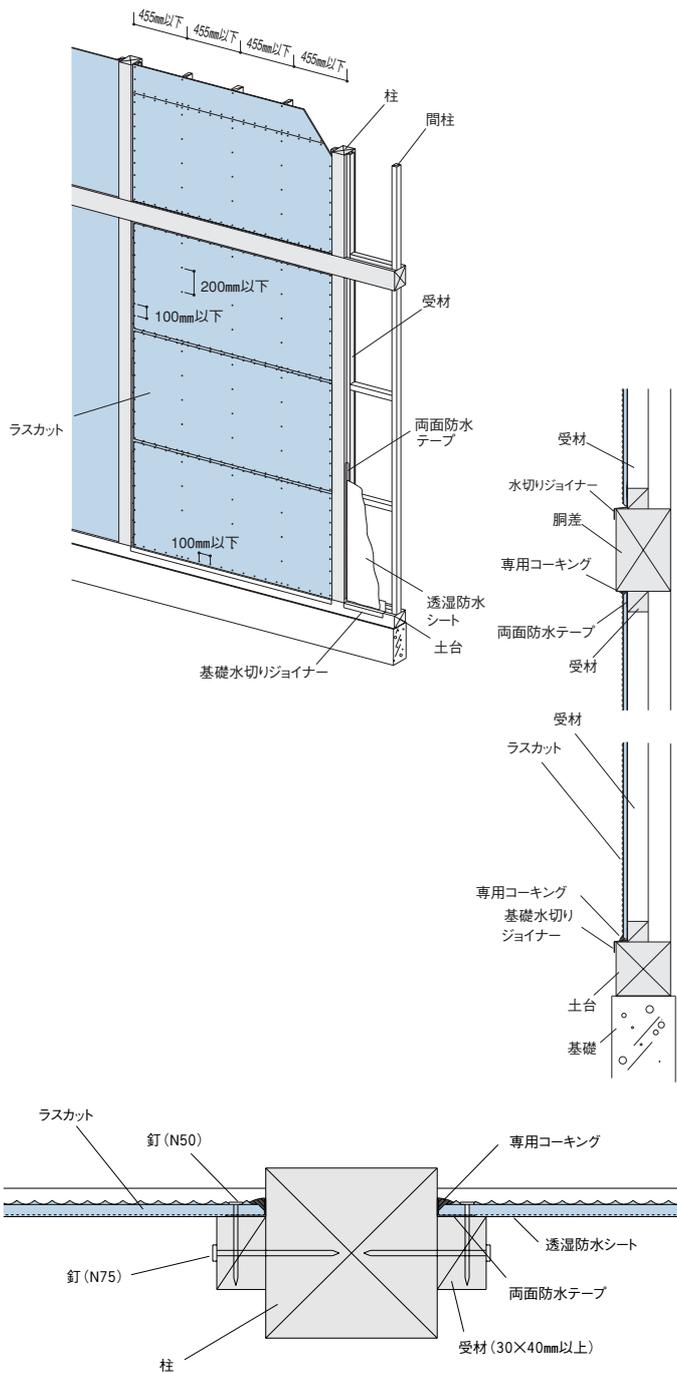


# ラスカット 木造軸組真壁造り【標準施工法】

施工要領

## ■ラスカット真壁造り

- 柱、間柱間隔は455mm以内としてください。また、継ぎ手部分の間柱は幅45mm以上としてください。
- ラスカットを留め付ける受材は、外周部の受材は30mm×40mm以上とし、N75以上の釘を用いて300mm以下の間隔で柱及び梁、桁、土台その他の横架材に留め付けてください。
- 水平方向の継ぎ手は、45mm角以上の受材を取り付けてください。
- 釘はN50を使用し、木口から約10mmのところ打ち付けてください。
- 釘打ち間隔はラスカットの外周部及び開口部廻りは100mm以下、面内は200mm以下としてください。



- 外装に使用する場合は、受材から柱まで両面防水テープを貼りつけ、透湿防水シートを施工後ラスカットを釘留めしてください。また、土台部には基礎水切りジョイナーを取り付けてください。

## 〈サッシ廻り〉

